

筆者が大腸内視鏡検査を始めたのは約 35 年前のことである。そのころは挿入手技の主体が二人法から一人法へ代わる移行期であり、多くの学会で「大腸内視鏡挿入手技」が主題として取り上げられていた。当時、学会やビデオテープなどを参考に岡本平次先生、光島徹先生、工藤進英先生など一人法の達人と呼ばれる方々の挿入手技を習得しようとしたがなかなか憶えきれず、達人の技を盗むため九州(久留米)から千葉(鴨川)の光島先生の下まで 2 年間修業に行き、やっとのことで手技を習得し久留米へ帰ったものである。その後は他の達人たちの技を参考にしながら手技の向上を目指し、現在に至っている。当時、達人たちの手技は完璧ではあるが、理論的説明が筆者にはわかりにくかったという記憶がある。現在に至っても筆者自身、挿入手技の理論武装が不十分であると自覚している。

筆者はまず太径のスコープを用いてループ形成→解除を繰り返す手技を覚え、次に太径スコープを用いてできるだけループを形成しない手技(軸保持短縮法)に移り、現在は細径拡大内視鏡による軸保持短縮法を行う努力をしている。30 年以上を費やしてこの程度の変化・進歩である。本号は、① スコープの太さ別の挿入の基本、② 受動湾曲・高伝達挿入部・硬度可変機能付きスコープによる挿入、とくに受動湾曲機能の利点・欠点、③ 挿入補助具(キャップ、バルーン内視鏡など)使用による挿入性向上、④ 達人 7 名によるっておきのコツ、のさまざまなについて細部までわかりやすく、具体的に解説されている。理論的に十分理解できていなかったことがわかり、心の闇が晴れてすっきりしたうえに新しいテクニックも学ぶことができた。もっと早くこのような 1 冊に出会えれば……と思ってゐる次第である。おそらく本号を読んでいただく読者にも筆者同様の感激を与えてくれる 1 冊である。

挿入手技の初級者、中級者、上級者を問わず、大腸内視鏡検査に携わる方々にぜひ本号をお薦めする。

鶴田 修
(久留米大学医学部消化器病センター)

INTESTINE

Vol.22 No.6

©2018 年 11 月 20 日発行

定価(本体 2,850 円 + 税)

●年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

・ Published by Nihon Medical Center Inc.

© 2018, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

編集 『INTESTINE』編集委員会

発行人 増永 和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64(協和ビル)

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail intestine@nmckk.co.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541